事務事業評価シート

(評価対象年度：平成 30 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		受益者負担金賦課事業			②事業番号	6305	
③事業類型	3. 政策推進事業			④開始年度	平成 6 年度	⑤終了予定年度	年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等	☐ 法令	☐ 条例	☐ 規則	要綱	計画等	その他	法令等の名称 下水道事業受益者負担等に関する条例
⑦実施手法	☐ 直営	☐ 全部委託	☐ 一部委託	☐ 補助・負担	☐ その他		
⑧関連予算科目コード	款	1	項	1	目	1	細目 3
⑨担当部署	上下水道部			⑩担当課名	下水道整備課		
				会計	下水道事業特別会計		

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 当該年度供用開始区域内の土地の下水道受益者	① 受益地の面積	m ²
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
毎年12月に、翌年度に賦課しようとする区域(公共下水道が供用開始される区域内の土地)を公告し、翌年7月に賦課決定する。負担金の額は、土地の面積に390円を乗じて算出する。負担金は、一括もしくは、3年に分割して徴収するものであり、毎年7月と12月に納入通知書を送付する。	① 賦課金額	千円
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
下水道整備費用の一部を負担していただくため、また、一部の住民しか下水道の利益を受けることができないことから、負担の公平性を図るため、受益者負担金を賦課徴収する。また、受益者負担金の理解を深めてもらい、収納率の向上に努める。	① 負担金収納額	千円
	②	
	③	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
下水道普及率の向上を図る。	政策(章)	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち
	施策大(節)	2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします
	施策中	4 下水道整備の推進
	施策小	1 下水道の整備

【2】各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	受益地の面積	m ²		14,958	21,553	15,535	6,645	6,645	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②									
活動指標①	賦課金額	千円		5,834	8,405	6,058	2,591	2,591	
活動指標②									—
活動指標③									
成果指標①	負担金収納額	千円		5,870	8,474	5,956	2,591	2,591	
成果指標②									事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③									
事業費	投入人員	人		0.50	0.45	0.52	0.52		
	正職員	人		0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人		0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人		0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円		4,016	3,614	4,216	4,216		
	直接事業費	千円		1,105	1,102	2,203	1,538		
	総事業費	千円		5,121	4,716	6,419	5,754		
	国庫支出金	千円		0	0	0	0		
財源内訳	府支出金	千円		0	0	0	0		
	受益者負担金	千円		1,105	1,112	1,890	1,538		
	その他特定財源	千円		0	0	0	0		
	一般財源	千円		4,016	3,604	4,529	4,216		

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	整備費用の一部を負担していただくため、下水道の利益を受けることができる住民に対して負担金を賦課している。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	近年は、公共汚水樹設置時に、住民の理解が得られるよう説明を徹底していることから、収納率もやや高くなっている。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価 **A**

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	受益者負担金を賦課徴収することにより、整備エリアの拡大につながり、普及率の向上を図ることができる。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	下水道使用料等により負担されている。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	新たに下水道が整備された住民が対象となるので、自ずと決まってくる。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	下水道の整備費用が確保できなくなり、整備エリアの拡大につながらず、快適で衛生的な生活環境が形成できない。

[2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価 **A**

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	受益者負担金を賦課、収納し、下水道整備財源の確保が図られている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	下水道整備状況によって、賦課件数が変わってくる。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できますか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

[3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価 **A**

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	—
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	—

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	総合評価の解説
総合評価	A	賦課した受益者負担金を確実に納入していただけるように説明を行っていくことが重要である。	<p>A: 現状のまま事業を進めることが適当</p> <p>B: 事業の進め方に改善が必要</p> <p>C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要</p>

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	<p>ア. 現状のまま継続</p> <p>イ. 見直しのうえで継続</p> <p>ウ. 終了 ↓ (___ 年まで)</p> <p>エ. 休止 ↓ (___ 年から)</p> <p>オ. 廃止 ↓ (___ 年から)</p>
イ	<p><今後の展開方針></p> <p>a. 重点化する(集中的なコスト投入)</p> <p>b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える)</p> <p>c. 効率化する(コストを下げる)</p> <p>d. 簡素化する(規模を縮小する)</p> <p>e. 統合する(他の事務事業と統合する)</p>
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—